

岡山県 地域連携・多職種協働周術期管理パス普及事業報告会  
「岡山県の周術期管理を考える」

日 時：2018年1月20日（土）13：00～16：00

場 所：岡山大学鹿田キャンパス 臨床第2講義室

特別講演	「医療介護制度改革の向かう方向～超高齢社会のニーズに応える～」 岡山県 保健福祉部 医療推進課 課長 則安俊昭
事業概要と総評	「地域連携・多職種協働周術期管理パス普及事業について」 岡山大学大学院 医歯薬総合研究科 麻酔・蘇生学分野 教授 森松博史
専従職員の 活動報告・成果	「周術期を担う歯科衛生士の活動と今後の展望」 岡山大学病院 周術期管理センター 歯科衛生士 花岡愛弓  「周術期管理における管理栄養士の役割」 岡山大学病院 周術期管理センター 管理栄養士 園井みか
シンポジウム	「光生病院での手術患者への周術期チーム医療の取り組み」 光生病院 手術室師長 小林清美  「入院支援室設置施設での周術期チームの取り組み」 川崎医科大学総合医療センター ICU 看護師長 田邊ルミ  「看-看連携での術前術後連携について」 重井医学研究所附属病院 副看護部長 長尾雅子  「岡山県内での医科歯科連携の取り組み」 岡山大学病院 医療支援歯科治療部 副部長 助教 山中玲子



岡山県 地域連携・多職種協働周術期管理パス普及事業報告会を開催いたしました。テーマは「岡山県の周術期管理を考える」でした。

始めに、岡山県保健福祉部医療推進課 則安俊昭課長より、特別講演が行われました。「地域医療構想の策定とその実現」、「地域包括ケアシステムの構築」を二つの柱とする、医療介護提供体制の改革が進められていると述べられました。次に森松博史教授より、事業概要について講演が行われました。本年度で終わるのではなく、岡山県内の周術期管理の標準化をさらに進めて行きたいと述べられました。

専従職員の活動報告・成果では、花岡愛弓歯科衛生士より、周術期口腔管理のシステム構築と改善など主な活動について述べられました。次に園井みか管理栄養士より、院内周術期栄養管理の標準化、教育ツールの作成、地域連携と今後の課題について述べられました。

シンポジウムでは光生病院 小林清美手術室師長より、常勤麻酔科医が不在での周術期チーム医療の取り組みについて講演いただきました。次に川崎医科大学総合医療センター 田邊ルミ ICU 看護師長より、入院支援室設置施設での周術期管理チームの外来看護師、入院サポート専任看護師、ICU 看護師、手術室看護師の各専門性に特化した取り組みについて講演いただきました。重井医学研究所附属病院 長尾雅子副看護部長より、当院との「看-看連携」での術前術後連携について講演いただきました。最後に、山中玲子歯科医師より、周術期における医科歯科連携の意義、PERIO における医科歯科連携の実際、岡山市での取り組みの紹介、今後の展望について述べられました。講演後、シンポジストの方とのディスカッションを行いました。

20 施設 96 名にご参加いただきました。



参加者内訳	
参加職種	(名)
医師	23
歯科医師	13
看護師	30
薬剤師	2
歯科衛生士	14
理学療法士	2
管理栄養士	7
その他	5

